



大分中央署管内で1年達成

死亡事故ゼロ 一日でも長く



街頭で交通安全を呼びかける高
校生ら。昨年7月、大分市花園

【大分】大分中央署管内で交通死亡事故が起きなかった期間が17日で1年となった。県警によると、管内は県内で起きる事故の約3割が集中しており、死亡事故ゼロがこれだけ長期に続くのは珍しいという。同署は「多くの人が交通安全を心がけた成果。一日でも長く更新したい」と話した。

地域で協力、心がけた結果

事故統計では、発生から24時間以内に死者が出たケースを死亡事故として集計している。同署管内では2023年4月17日、同市明野北の県道交差点で横断中の男性(79)が軽乗用車にはねられ亡くなって以降、死亡事故が起きていない。

管内は県内15署で最多の11万3136世帯、22万5464人(昨年1月1日時点)が暮らす。官公庁や商業施設、オフィスが立ち並び交通量も多いため、事故が多発する地域となっている。昨年は年間764件の事故があり、県内で起きた総件数2233件の34・2%を占めた。

同署は管内にある行政機関や学校、団体と連携し、街頭活動などで交通マナーの向上を呼びかけている。抑止効果を高めるため、事故が多発する場所や時間帯を分析。重点的な取り組みを展開している。

同署の藍京誠治地域交通官は「これまで死亡事故ゼロが続いたのは、さまざまな立場の人が協力してくれたおかげ」と話した。

管内の校区ごとに分会を置いて活動する県交通安全協会中央支部の湯田国男支部長(84)「顔写真」

は、ほぼ毎日通学路に立ち、登下校の子どもを見守っている。

「死亡事故は絶対に起こしてはならない。自分分は54年前に2歳だった息子を事故で亡くした。こんな思いは誰にもしてもらいたくない」と、死亡事故ゼロが続くことを願った。(小林滋)



〔問①〕交通死亡事故が起きなかった期間が1年となったのはどこの警察署管内ですか。

〔問②〕昨年(2023年)県内で起きた事故の総件数は何件ですか。

〔問③〕交通事故に遭わないように普段から気をつけていることや、これから気をつけようと思うことは何ですか？